



第65号

2026年3月31日

発行

鷺山自治会連合会

鷺山まちづくり協議会

地域コミュニティ情報サイト「さぎ山の広場」では、掲載情報を募集しています！
 地域の出来事、募集情報等があれば sagiyama.machikyoun@gmail.com にご連絡ください。



二十歳のつどいの写真は、左上QRコードからご覧いただけます。

鷺山校区 二十歳のつどい 謝辞

本日は、私たちの人生の節目にあたってこのような会を開いていただき、誠にありがとうございます。
 また、本日も来賓の方々、自治会長様、多くの方々よりお祝いの言葉、励ましの言葉を賜りまして平成29年度卒業生を代表し、心より感謝申し上げます。

かつての仲間たちと久しぶりに再会した今日、たくさんの思い出を振り返ることができました。夢に向かって学生として勉学に励んでいる人、夢をかなえ社会人として働いている人、次々と目標を立てそれに向かって挑戦しつづけている人、それぞれの道に進んでいることを知りとても誇らしく思いました。

私たちが今ここで再会できているのは、私たちを支えてくれた家族や友人、そして見守ってくださった地域の皆様のおかげだと思っております。この先もきつとたくさんの壁にぶつかることになると思います。その時は、この鷺山で培った相手を思いやり、助け合う心で乗り越えていきたいと思えます。

私は、将来子供や患者さんに寄り添える心理士になりたいと思いをしています。もしかしら復学ができないかもしれない、夢がかなわないかもしれない、何度も悩みました。そこで休学中起きていられるときに、夢をかなえるときの糧になるような資格の勉強を始めました。今は、登録販売者の資格の勉強をしています。解剖学から一般医薬品の薬までを独学で勉強するのは大変ですが、夢をかなえるためと考え頑張っています。

そしてこのような選択ができたのは、たくさん話を聞いてくれた家族や友達の後押しがあったからだと思えます。次は私が後押しする側になれるよう成長していきます。

最後になりますが、これまでの20年間を見守り、支えてくれた家族、また愛を持ってご指導してくださった諸先生方、さらには本日の式典を開催して下さった自治会をはじめ、地域の皆様にご改めて感謝申し上げますとともに、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。20歳を代表して謝辞とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。

令和八年一月十一日

令和七年度 鷺山校区二十歳のつどい参加者代表 古田 結愛



みなさん、この1年『OMG』という言葉を耳にしたことがりますか。「オマイガー！」(なんというかとだ)「の略語ではありません。『オレたちが』の略語を『ガチでつくるぜ』の略語で、青山中学校の生徒の皆さんが始めた、まちづくり生徒会のことです。

「まちづくりに関する私たちの意見を聞いてください」「単なるお手伝いとしてではなく、わたしたちもまちづくりに参加させてください」という青山中学校生徒会代表の話を聞いたのが、令和6年夏休みのことでした。それ以来、まち



づくりに関心のある皆さんとの懇談を重ね、主体的にまちづくりに参画していく中学生のグループとして、4月にこの『OMG』が発足しました。

今年度は特に、夏祭りの取組において目を見張るものがありました。夏祭りで中露店やアトラクションを受け持ち、自分たちで考えて、自分たちの力で運営しようという取り組みをしました。

5月から何度も話し合いを重ね、露店では焼きそばとかき水を、アトラクションと

て、OMGの取組を振り返って、生徒の皆さんからは、「地域の皆さんから取り組む楽しさを学び、今より人のために動けるようになった。」「地域の活動に主体的に参加して、自



してお化け屋敷を行うことに決め、仲間と協力して必要な物品をそろえたり、露店のポップを作成したり、お化け屋敷の仕掛けをつくらしたりしました。残念ながら、夏祭り当日はあいにくの雨天となりましたが、最後まで自分たちの力でやり遂げることができました。

どの子も、仲間と協力して最後までやり切った充実感や地域のために貢献できた喜びを味わうことができたようです。

分たちがまちをつくらせてくんだという責任感ももてる。」「自分たちにも地域を盛り上げることができるとやる気がわいてきた。」など、自分たちの成長を感じた声がたくさん聞かれました。

さて、この他にも、鷺山青少年育成市民会議では、鷺山の青少年の健全育成のために、様々な活動に取り組んできました。「あいさつ運動」は、今年度も4回実施し、あいさつを交わすことで、子どもたちとのつながりを深めてきました。

高校生・大学生による「さぎやままちづくり活動グループ」の皆さんは、夏祭り大会や二十歳のつどいなどで、地域の担い手として活躍をしました。乳幼児を対象とした「親子ふれあい教室」や「さぎやま子くらぶ」では、子育て中の親子の皆

さんが、積極的に交流して仲を深めることができましたよ。安全を守るために、地域の各種団体の皆さんと共に、毎月の見守り活動にも取り組んできました。

私たち鷺山青少年育成市民会議は、鷺山に住む青少年が、日々安心して自分らしく過ごすことができるように、これからも精一杯努めてまいります。引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。



分たちがまちをつくらせてくんだという責任感ももてる。」「自分たちにも地域を盛り上げることができるとやる気がわいてきた。」など、自分たちの成長を感じた声がたくさん聞かれました。

みんなで広げよう！鷺山あいさつ運動の輪・和・環

鷺山の子ども達に、素敵なあいさつを届けよう！

話して聴いて
心がつながる
家庭の日

推進員
恩田 敬司

家庭は、ふれあいと安らぎの場であるとともに、青少年の規範意識やマナーなど社会のルールを身につけるための最も重要な場です。また、地域社会は、青少年の人格形成や社会的連帯性の涵養に大きな影響力をもっています。岐阜県では、第3日曜日を「家庭の日」と定め、その意義の浸透を図るとともに、その普及実践に努めています。その一環として地域の活動団体は、



青少年育成の基盤である心豊かで明るい家庭づくりや人と人のつながりを大切にした地域づくりを進めています。

今年度鷺山青少年育成市民会議では、市民大運動会の際に、露店でのみならず、団子の販売に合わせ、「家庭の日」啓発グッズのウェットティッシュを配付し、来場者に対して「家庭の日」の目的を広めることに努めました。また、新築された鷺山公民館の玄関には、「家庭の日」普及のための旗を掲げさせていただき、公民館を訪ねた方々の目に入るようにして、啓発を進めてきました。

さらに岐阜市では、令和8年1月18日(日)に、第52回「家庭の日推進大会」が開催されました。第4ブロックより、大規模災害発生時の避難生活を想定して、日頃より家族でよく話し合っておくことの大切さが提案されました。ブロック内の中学生の代表が、家族の中で避難する場所を決めておくことや家庭内の家具を固定しておくことなど、それぞれが中心になり、約束事を決めていくという実践を発表しました。

よいので、家族みんなで意見を出し合いじっくりと耳を傾けて聴き合うことが何よりも大切です。みなさん毎月第3日曜日が「話して聴いて心がつながる家庭の日」になるように心がけてみませんか。

広い視野から
まちづくり活動を
考える

堤 崇

まちづくり活動グループは、主に青山中学校を卒業した高校生、大学生、社会人で構成された地域の若者グループです。

グループでは、次の活動理念を掲げて活動しています。**「まちづくりは、人づくりである。地域貢献活動を通して、世代を超えた心の繋がりを作り、心豊かな地域社会に寄与することを目標に活動する」**

今年も約30回の活動を行いました。高齢者の方を対象にした「ふれあいいきいきサロン」では、音響担当司会進行や、ビンゴ大会の運営などの役割を通して、高齢者の皆さんとの交流を楽しむことが出来ました。「二十歳のつどい」では、

実行委員や、会場の準備、音響担当、メッセージボード制作などを行い、二十歳の皆さんをお祝いしました。



また、広い視野でまちづくり活動を考えるために、毎月研修活動を行ってきました。今年度は次のようなテーマで学び、まちづくり活動に活かしてきました。
・「自分らしさとは」多様な価値観の中の自分
・世界で起きている紛争問題とあなた
・童謡、唱歌が幼児や子どもに与える影響
・スマホ依存、情報化社会の中で、本当に必要な情報とは？
・豊かな心を育む体験活動
・子どもの発達障害、多様な時代の一緒に生きる
・地域のボランティア活動の目的とは

・あなたは何のために勉強をしますか？
こうした幅広いテーマで学ぶことから、今の地域社会の中で自分にできることを考えてきました。これらの活動を通して、地域の若者が、利他的な広い心を養い生き方を模索しながら、自身と周りの人の幸せを考える人になっていくことを願っています。

子育ての仲間づくりを
めざして
家庭部会長
石原 志保

今年度も、鷺山校区にお住まいの0～1歳児とその保護者を対象とした、親子ふれあい教室を開催しました。年間4回開催し、いずれも地域全体で子育てを支えるあたたかかな雰囲気の中で行われました。



第1回「親子でふれあい遊び」
 第2回「ぎふ木遊館で遊ぼう」
 第3回「乳幼児の救命講習」
 第4回「クリスマス会」
 第1回は、「はじめまして」の自己紹介から始まり鷺山保育所の先生による大型絵本の読み聞かせやパネルシアター、身近な素材を使った転がるおもちゃづくりで楽しめました。家庭でも取り入れやすい遊びの紹介もあり、参加者からは大好評でした。



第2回、第3回は近隣地域と合同で開催したため参加人数も多く、地域をまたいだ親子の交流が図られました。特に第2回の「ぎふ木遊館」では、全館貸切とさせていただき、子どもたちは危険な思いをすることなく、のびのびと木のおも

ちゃで遊ぶことができました。第4回のクリスマス会は大きなツリーの前で写真を撮りました。鷺山保育所の先生によるベル演奏や手遊びでは、じっと目を向けたり声を出して反応したりして楽しむ子どもたちの姿がたくさん見られました。



活動後半には保護者同志が交流できる時間を設け、育児中の悩みや日常の様子について話し合う姿も見ら



れました。会を通じて地域にお友達ができて心強いと言った声も聞かれました。本教室は**子育て家庭の孤立を防ぎ、子育ての仲間づくりを目的としています。**今後も親子が気軽に参加できる場づくりを継続していきます。

地域ぐるみで子どもたちを見守る 社会環境部会長 矢上 貴夫

今年度の活動を振り返ってみますと、昨年の岐阜北消防署前の自傷行為のような大きな事件は無かったものの、不審者情報は時々上がってきました。例年のように防犯パトロールを継続的に実施し、公園などを見



回ってきました。パトロールを実施しても、公園などで遊ぶ子どもたちの姿は少ないように思いますが、公園のベンチまわりには煙草の吸殻が目立ち、時間帯の違いで青少年がたむろする場になっているかもしれないと心配しています。最近では、ネットでつながりをもち、中高生の問題行動が広域化しているようで、鷺山地域の中でも、心配な姿を目にすることが時々ありました。

我々の活動は、そのような問題行動に生徒たちが巻き込まれないように見守るためにあります。今年度から、鷺山まちづくり協議会のみまもり部会の呼びかけで、鷺山自治会連合会及び地域安全指導員、鷺山小学校PTAの地域生活委員会、



鷺山青少年育成市民会議の社会環境部会が中心となり、防犯パトロール情報共有ワークショップを開催し、校区内の危険場所などを共有し、多くの大人の目で青少年を見守るシステムができあがりしました。

また今年度も、鷺山小学校・青山中学校での朝のあいさつ運動を年間4回実施し、子どもたちとの触れ合いの場として大切にしてみました。小中学生とあいさつを交わすことで、私たち大人は元気をもらっています。また、子どもたちに対しては「みんなのことを気にかけて見守っているよ」「困ったことがあったらいつでも相談に乗るよ」というメッセージを送っています。



これからも、**校区内で子**

家庭教育啓発市民運動 「決めて、守ろう！」 『我が家のルール』 皆さんの家にも我が家のルールありますか？

毎月第3日曜日は、『家庭の日』です。家族でいっしょに過ごして楽しい団らんを！

どもたちを見かけた時には、こちらから一声あいさつと言葉をかけ、地域ぐるみで子どもたちのことを見守っていきましよう。みなさんご協力よろしくお願いいたします。

異年齢集団の絆を深める
子ども会活動
子ども育成部会長
長屋 幸知



今年度の鷺山校区子ども会育成会では、子どもたちが自分たちの住むまちへの愛着をもち、仲間と共に成長できるよう、季節ごとに様々な体験活動おこなってきました。今年度初めての試みとして、6月には、北野神社の

梅をいただき、梅干しや梅シロップをつくりました。また、6月の終わりには、「どろんこ運動会」を開催し、水田を舞台にインリダ1生が考えた4つの競技を楽しみました。最初は泥の感触に戸惑っていた子ども、最後には笑顔で泥だらけになり、日常では味わえない開放感の中で、地域の自然を満喫しました。この体験は、子どもたちの五感を刺激し、たくましさを育む貴重な体験になりました。



そして11月にはハロウィンイベントとして「お菓子みこし」を実施しました。午前はお菓子みこしの組み



立て。午後からは校区内の練り歩き。子どもたちは自分たちで飾り付けを工夫し夢の詰まったおみこしを完成させました。当日は元気に掛け声とともにみこしを担ぎ、鷺山公民館から池田公園、そしてゴールのさぎも公園へと練り歩きました。最終地点のさぎも公園では、みこしを解体してお菓子まきを行い、大いに盛り上がりました。これらの活動は、保護者の皆様や地域の方々との多大なるご協力により支えられています。心より感謝申し上げます。今後も遊びや交流を通じて、異年齢間の絆を深め、子どもたちの健全な成長を支えていけるよう活動を続けてまいります。

ひとときのリラックスタイムを!!
子育て支援部会長
尾藤 ひとみ

子育てサークル「さぎっ子くらぶ」は、保育所・幼稚園等に入るまでのお子さんとその保護者の方の集まりの場で、情報交換や楽しい交流活動を行っています。社会では少子化と言われているが、実際鷺山でもお子さんが少なくないです。親御さんと実感しています。親御さんのお仕事復帰の時期も早くなってきたり、参加者も少なくない、今年度の参加者は6組前後でした。それが、鷺山保育所や日光児童センターの先生と一緒に楽しく活動したり、ちよつとためになる話を聞く会を開いたり、鷺山老人クラブ連合会の方々と交流したりしてきました。また今年度で最後になりましたが、JAさぎふ鷺山支店さんのご協力により、さつまいも掘り体験も家族皆さんで楽しんでいただけました。

時々出産後の親御さんにもあります。どなたがいらしても大歓迎です。お気軽にお越しください。詳しくは

くはHP「さぎ山の広場」の「さぎっ子くらぶ」のコーナーをご覧ください。左のQRコードからアクセスして見てください。只今来年度の計画を検討しています。

「子育て」が「孤育て」にならないように、一緒におしゃべりして、リラックスタイムを過ごしましょう。



さぎっ子くらぶ さぎっ子くらぶ

さぎっ子くらぶ さぎっ子くらぶ

第63回 鷺山校区 市民大運動会

令和7年10月12日(日)に岐阜市立鷺山小学校グラウンドにて、第64回 鷺山校区市民大運動会が開催されました。開催予定の前週末までは、天気予報が雨模様で開催も危ぶまれましたが、開催前日から天候も回復していき、無事開催することが出来ました。前日の準備には、鷺山体育振興会と鷺山自治会連合会の皆さんが、ラインひきやテント張りなどに取り組みました。



運動会開会にあたり、鷺山体育振興会の土田 正人会長、鷺山自治会連合会 水野 吉近会長、岐阜市立



鷺山小学校 石神 康晴校長から挨拶を頂きました。まず、最初に全国ラジオ体操連盟公式ラジオ体操指導員の山内 香織さんの指導の下、ラジオ体操第一で準備運動に取り組みました。



今年度は、一番はじめの競技が大人気のパン食い競争でスタートです。パンだけなく、カップ麺やお菓子が頑張られており、皆さいききました。この競技を皮切りに、例年楽しんでる競技やリニューアルされた競技、今年度から初めて取り組まれる競技など、多くの楽しいプログラムが展開されました。東西の地区に分かれて地区対抗綱引きも実施されました。この勝負は、2連勝で正木地区・緑ヶ丘地区が勝利を収めました。



最終競技は、各種団体による対抗競技です。鷺山自治会連合会、鷺山体育振興会、鷺山小学校PTA、鷺



山青少年育成市民会議、鷺山スポーツ少年団、岐阜市北消防団鷺山分団、鷺山水防団の皆さんが、様々な競技で競い合いました。アンカーは、各種団体の代表者による仮装パフォーマンスです。テーマは『女装』ということで、多くの美女が会場を周回してパフォーマンスを披露してくれました。

各種団体競技では、団体として鷺山小学校PTAの皆さんが勝利を収め、仮装部門では、鷺山自治会連合会の水野 吉近会長が栄冠を手に入れました。なお、今年度からは、競技に参加された皆さんに配布されたビンゴカードを使って、ビンゴ大会を開催され、たくさんのお景品を持ち帰って



を行いました。岐阜市立青山中学校の生徒ボランティアの皆さんも、運営に携わってくださりました。本当にありがとうございました。



令和16年(2034年)には、織田 信長公 生誕500年

令和17年(2035年)には、濃姫 生誕500年を迎えます。鷺山の活性化に繋がっていきましょう！

竹灯籠制作 ワークショップ & 第5回 竹灯籠グランプリ



令和7年12月14日(日)に、マサシヨッピングセンターにて、竹灯籠制作ワークショップ及び竹灯籠グランプリ表彰式が開催されました。竹灯籠制作ワークショップでは、マサ21に訪れたお客さんが続々とワークショップに参加頂き、30分程度の活動で素敵な竹灯籠を作ってもうらやました。老若男女様々な参加者が、インパクトドライバーを使って、鷺山まちづくり協議会のスタッフの指導の下、竹に穴を開けていきましました。参加者の皆さんは、竹灯籠の出来映え

午後4時から、いよいよ第5回竹灯籠グランプリの表彰式がスタートです。まず、エントリーされた10作品の制作者と作品が大型ビジョンで紹介されました。作品が紹介される度に大きな拍手が会場から送られました。すべての作品が紹介



に驚かれながら、作成された竹灯籠をお土産に持って帰ってもらいました。今年度は、児童の制作した72作品の竹灯籠について、鷺山校区文化祭で投票を行い、上位10作品を竹灯籠グランプリエントリー作品として選出を行いました。その10作品を、マサセンターAで展示を行い、御来場頂いた一般のお客さんにも投票を頂き、その結果も含めて、グランプリ作品を選出しました。



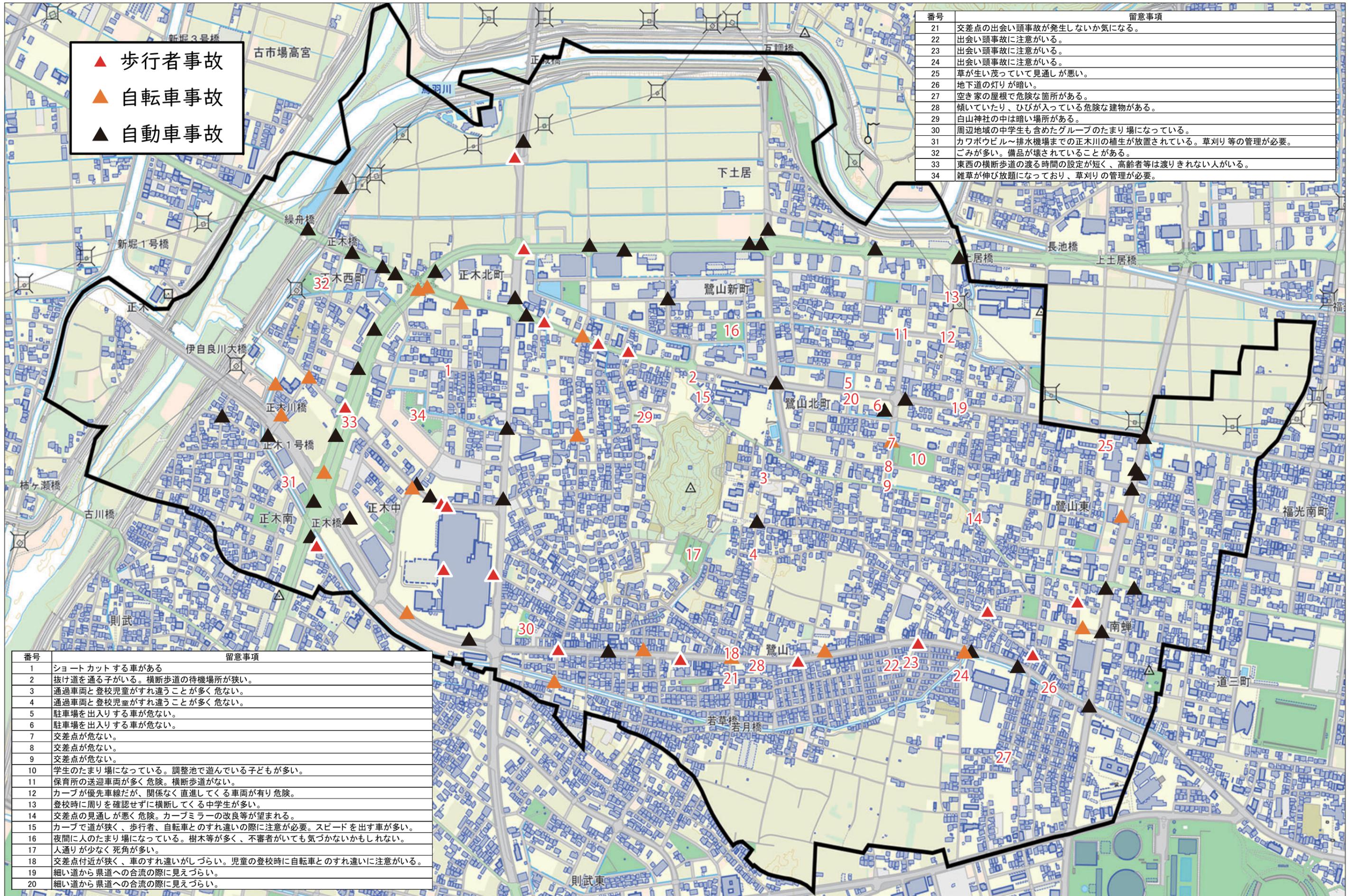
された後、いよいよグランプリ作品、準グランプリ作品が紹介されました。準グランプリ作品2作品には、三尾 歩睦さんの「ハロウインパーティー」と林 音飛矢さんの「たなばたのほし」が選出されました。栄えある第5回竹灯籠グランプリには、岩佐 優来さんの「流れる花」が選出されました。グランプリを受賞した岩佐さんには、カワボウ株式会社 川島 政樹 代表取締役社長から表彰状と副賞が授与されました。来年も素敵な竹灯籠を児童の皆さんと一緒に制作できるようながんばります。今回の第5回竹灯籠グランプリには、カワボウ株式会社並びにJAぎふ鷺山支店から御協賛を頂きました。本当にありがとうございます。

防犯パトロール 情報共有 ワークショップ

令和7年11月8日(土)に鷺山公民館にて、防犯パトロール情報共有ワークショップを開催いたしました。鷺山では、鷺山自治会連合会執行部及び地域安全指導員を中心とした防犯パトロール、鷺山小学校PTA地域生活委員を中心とした子ども見守りのためのパトロール、鷺山青少年育成市民会議 社会環境部会の少年補導員を中心としたパトロールなど、様々な主体がそれぞれ目的に応じてパトロールを実施しています。しかしながら、今までは、パトロール活動で気づいたことについて情報共有が出来ていませんでした。そこで、鷺山でパトロールを実施している関係者が一堂に集まり、鷺山校区の地図を確認しながら、日頃のパトロールでの気づきについて見交換を行いました。児童・生徒の見守りの視点、地域住民の視点、高齢者の視点、歩行者の視点など、色々な視点から意見を交わすことができました。40分程度



マッピングワークショップでの意見交換を踏まえて、グループ毎に出された意見について、情報共有のための発表を行いました。発表では、交通事故が起きそうな車両走行の状況や歩行者・自転車の状況、公園の利用状況、青少年の問題行動の様子、道路等の改善に向けたアプローチの仕方についても意見が出されました。また、防犯パトロールの見直しの必要性、お互いが気づいている情報の共有の方法についても提案され、防犯パトロールによって気づいた課題の共有とそれに向けた対策の方向性について確認することが出来ました。この日のワークショップで出された意見については、次のページに掲載します。ご役立てください。



- ▲ 歩行者事故
- ▲ 自転車事故
- ▲ 自動車事故

番号	留意事項
21	交差点の出会い頭事故が発生しないか気になる。
22	出会い頭事故に注意がいる。
23	出会い頭事故に注意がいる。
24	出会い頭事故に注意がいる。
25	草が生い茂っていて見通しが悪い。
26	地下道の灯りが暗い。
27	空き家の屋根で危険な箇所がある。
28	傾いていたり、ひびが入っている危険な建物がある。
29	白山神社の中は暗い場所がある。
30	周辺地域の中学生も含めたグループのたまり場になっている。
31	カワボウビル～排水機場までの正木川の植生が放置されている。草刈り等の管理が必要。
32	ごみが多い。備品が壊されていることがある。
33	東西の横断歩道の渡りの時間の設定が短く、高齢者等は渡りきれない人がいる。
34	雑草が伸び放題になっており、草刈りの管理が必要。

番号	留意事項
1	ショートカットする車がある
2	抜け道を通る子がいる。横断歩道の待機場所が狭い。
3	通過車両と登校児童がすれ違うことが多く危ない。
4	通過車両と登校児童がすれ違うことが多く危ない。
5	駐車を出入りする車が危ない。
6	駐車を出入りする車が危ない。
7	交差点が危ない。
8	交差点が危ない。
9	交差点が危ない。
10	学生のたまり場になっている。調整池で遊んでいる子どもが多い。
11	保育所の送迎車両が多く危険。横断歩道がない。
12	カーブが優先車線だが、関係なく直進してくる車両が有り危険。
13	登校時に周りを確認せずに横断してくる中学生が多い。
14	交差点の見通しが悪く危険。カーブミラーの改良等が望まれる。
15	カーブで道が狭く、歩行者、自転車とのすれ違いの際に注意が必要。スピードを出す車が多い。
16	夜間に人のたまり場になっている。樹木等が多く、不審者がいても気づかないかもしれない。
17	人通りが少なく死角が多い。
18	交差点付近が狭く、車のすれ違いがしづらい。児童の登校時に自転車とのすれ違いに注意がいる。
19	細い道から県道への合流の際に見えづらい。
20	細い道から県道への合流の際に見えづらい。

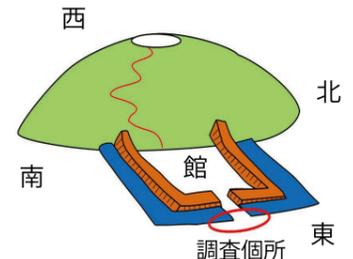


図2 鷺山東山麓の館の構造図

今回の発掘調査成果について

鷺山市場遺跡は独立丘陵「鷺山」の東側に位置しています。調査から東西約150m、南北約200mの鷺山館が存在していたと考えられています。(写真2)

今回の調査場所は、館の東側にあった調査箇所と推定され、調査箇所は、江戸時代には旧長良川「用語解説3」の河道となっていたため、大部分が削平されています。したがって、調査箇所北端で石垣で護岸された土橋と堀の一部が見つかりました。(写真2・3)



写真1 鷺山市場遺跡発掘調査箇所(南東から) 株式会社イビツク提供



「鷺山市場遺跡発掘調査現場説明会」のお礼

令和8年1月25日(日)に現場説明会を開催いたしました。当日は、約700名の方にお越しいただき、多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。発掘調査の実施並びに現地説明会の開催にあたり、ご協力賜りまして、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

過去の調査で確認された堀は、幅16mと推定されます。また、堀を渡るための土橋は幅7mを測り、さらに西へ延びると考えられます。土橋は、造成土中から16世紀後半の素焼きの皿(かわらけ)などが出土したことから、築造時期はその頃と考えられます。さらに、土橋と堀には石垣が施されています。特に、石垣の石は最大幅80cm、高さ45cmの石材が使用され、その上には、材が直に積み上げられています。また、堀の右側には、二次元的な堀の構造が見られます。この堀は、鷺山館の周囲を囲むように掘削されたもので、高さが約1.5mと推定されています。また、堀の外側には、石垣が築かれています。



写真3 土橋の南側護岸の石垣(南西から) 株式会社イビツク提供

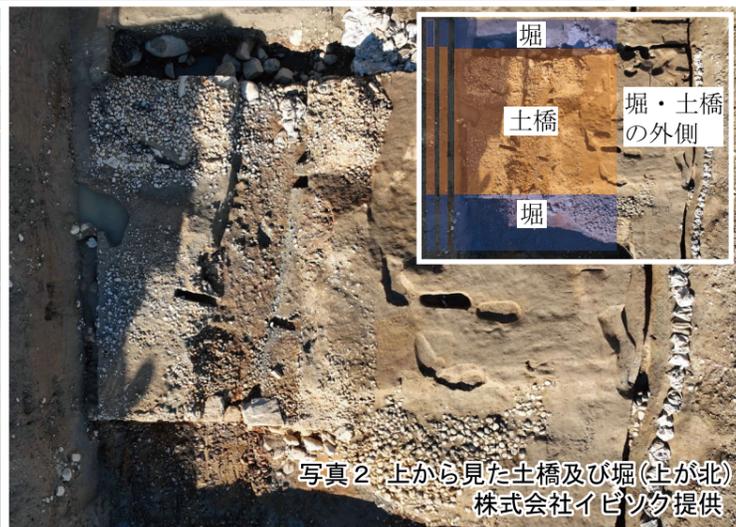


写真2 上から見た土橋及び堀(上が北) 株式会社イビツク提供

鷺山市場遺跡発掘調査について

現在、埋蔵文化財包蔵地「鷺山市場遺跡」内で都市計画道路鷺山下土居線の建設が予定されていることから、令和7年11月より、発掘調査を実施しています。(写真1)

ここでは、鷺山市場遺跡を含む「鷺山遺跡群」と今回の発掘調査成果について、岐阜市ぎふ魅力づくり推進部文化財保護課より紹介したいと思います。

鷺山遺跡群について

鷺山地域周辺には、鷺山市場遺跡のほか、鷺山仙道遺跡、下土居北門遺跡、下土居若宮遺跡等が存在し、これらを合わせて「鷺山遺跡群」と呼称しています。

鷺山遺跡群は長良川が形成した扇状地【用語解説1】上に立地しています。

平成12年度から24年度に区画整理事業等に伴い行われた発掘調査では、縄文時代の遺物が確認されています。特に、戦国時代に入ると増加します。

守護の拠点「福光・鷺山」

鷺山遺跡群で確認された戦国時代の遺構には、蟬土山城館跡(鷺山蟬遺跡)、鷺山館推定地(鷺山市場遺跡)などの屋敷跡が存在し、遺跡群の北側には宗教的な施設をもつ地域(正明寺城前遺跡)、銅製品の製造工房域(鷺山仙道遺跡)などが配置されていたことが分かっています。(図1)

発掘調査で確認された戦国時代の区画溝【用語解説2】をもとに推定復元したところ東西約1km、南北約0.5kmの範囲内に、一辺120mの基盤目状の地割が存在しており、計画的に造られた都市であることが分かりました。

戦国時代の岐阜市域には、美濃国を治める守護・土岐氏が拠点を置いていました。土岐氏の拠点は始めに岐阜市南部の「革手・加納」にありましたが、十六世紀の初頭に、長良川右岸の「福光・鷺山」へ移ります。

鷺山遺跡群の範囲は、この「福光・鷺山」の範囲を示すと考えられます。

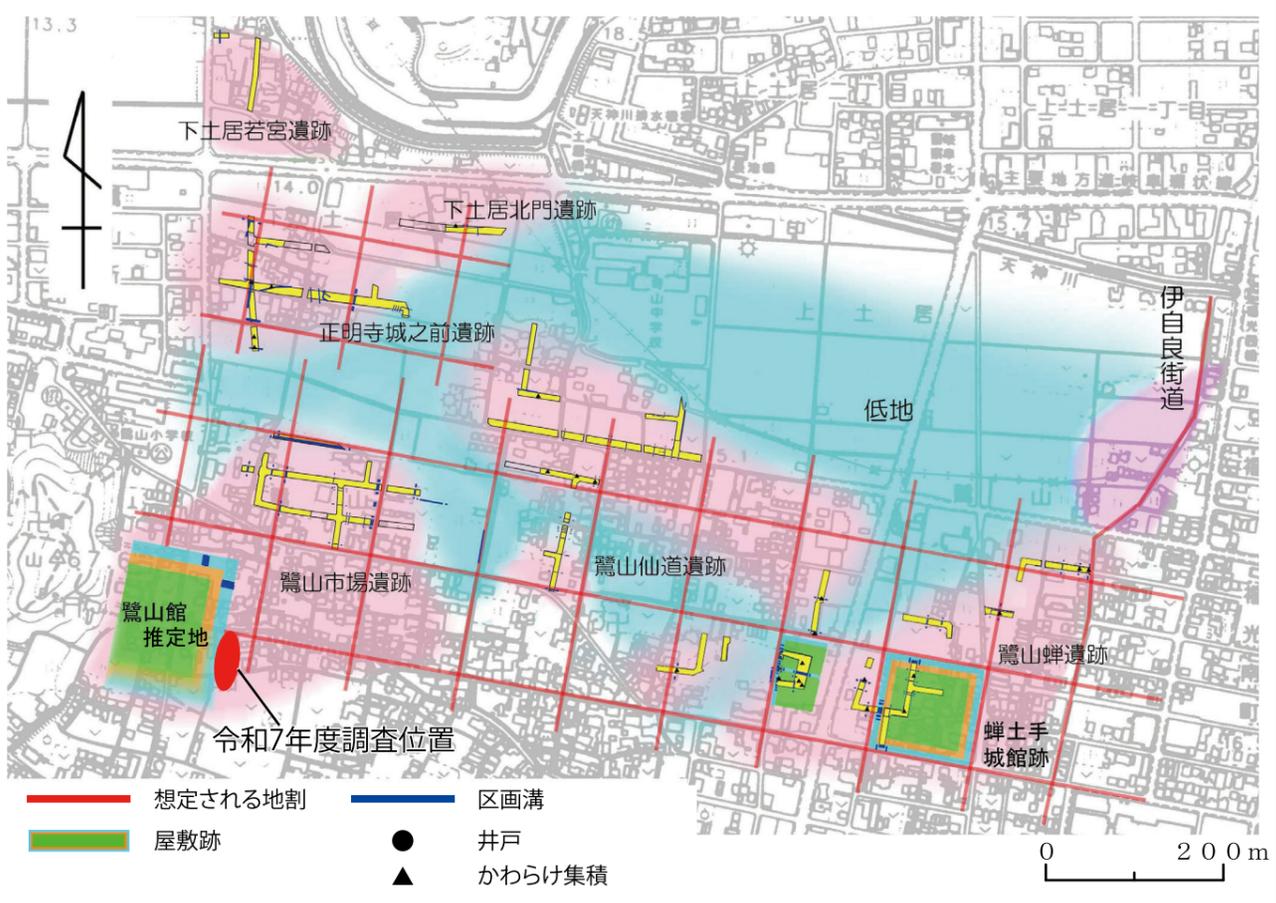


図1 鷺山遺跡群地割復元図 (朝田公年氏提供図に一部加筆)

【用語解説】

(1)扇状地 山間部を流れる河川により運搬された堆積物が扇状に広がり形成された地形

(2)区画溝 建物や集落などの内と外を区切る人工的な溝

(3)旧長良川 昭和初期まで分流していた長良川の支流で古々川ともよばれる

自転車運転時の信号無視、一時不停止、「ながらスマホ」、右側通行等は絶対やめましょう!

民謡クラブ

下野 布美子

日本各地の民謡、盆踊り、演歌歌謡など初めての演歌も安心して出来る健康踊りです。私達は、『百才迄踊りましょう』を合い言葉に曲にあわせて日々楽しくストレスなども発散してあります。また、外部とのイベント参加活動もしております。見学体験随時しております。お気軽にいらして下さい。お待ちしております。

健康ヨーガ

乾 秀子

「日本ヨーガ学会」の理念に基づき内山 説子先生のご指導の下 第1・3週の水曜日午前10時〜11時に一人一人の体調に考慮し、体の声を聞きながら楽しく動き健康維持に努めていきます。気軽に体験見学にいらして下さい。

いきいきエクササイズ

清水 邦子

音楽に合わせての軽いエクササイズと床に座っての全身のストレッチ体操、こんな感じで、毎日を健康で元気に過ごす事が出来るように皆で頑張っています。宜しければ体験して下さい。

書道クラブ

和田 辰弥

新鷺山公民館の明るい部屋で活動が始まります。先生を含め11名の会員で先生のお手本に基づき自我自習して、楽しく授業をしています。書の上手下手は、気にせず。日々送っています。先生の指導の下、明るいクラブ活動です。いつでも入会を待っています。

ひまわりコーラス

岩田 好枝

ひまわりのような明るい真澄先生が愛唱歌を教えてくださいたい曲なども楽しく歌っています。グランドピアノがありますし、大きなお部屋で声を出してストレス解消です。一度見学に来ませんか？宜しく願います。

しらさぎコーラス

小川 玲子

2週間に1回、明るく広々とした教室で楽しく歌っています。今は、女声2部合唱を中心としたレッスンをモアたっぷり指導して下さい。

います。年齢を重ねたメンバーですが、心も体も若々しくなるような気がしています。皆さま、一緒に声を迎えます。皆さまでいっしょに声を出しませんか？いつでも見学にいらして下さい。大歓迎です。

鷺山筋トレクラブ

河合 輝久

!!健康的な90歳を目指して、一緒に「筋トレ体操」を始めませんか!! 誰でもできる簡単な7つの体操で、道具もありません。いつでもでも健やかで、元気でありたいものです。寝たきりになる原因には、「転倒による骨折」「筋力の低下」があげられます。元気、健康、生涯現役を目指し一緒に楽しみませんか！見学においで下さい。

リフレッシュ3B

高橋 恵子

新しい鷺山公民館で鏡もあり、毎回気持ち良く体操させていただき感謝しています！身体を動かすことが苦手な方でも皆さんと楽しく無理なく身体を動かすことが自然に出来ます。いつでも見学においで下さい！

各クラブの活動の詳細は、鷺山公民館にお尋ねください。

公民館講座 親子で楽しむもちつき体験

令和7年12月20日(日)に、鷺山公民館講座『親子で楽しむもちつき体験』が開催されました。前日には、20kgのもち米を研いだり、杵や臼、蒸しせいろの準備をしていきました。



ツプがサポートしながらもちつきを体験する児童や、親子でもちつきをする児童、1人で杵を扱うインリダーの皆さんはじめ、多くの児童の皆さんにもちつきを体験してもらいました。つきあがった餅は、小さな丸餅に分けていき、みな粉をたっぷりまぶして、みんなでおいしく頂きました。また、年始を迎えるにあたり、鷺山公民館と鷺山子ども館に飾る鏡餅も作っていただきました。来年も多くの皆さんが、鷺山公民館、鷺山子ども館を訪れて、交流を深めていくことが出来ればと思います。なお、今回のもちつき体験の実施にあたっては、JAぎふ鷺山支店から御協賛を頂きました。誠にありがとうございました。



令和七年度
鷺山校区文化祭

令和7年11月29日(土)、30日(日)に、岐阜市立鷺山小学校にて、鷺山校区文化祭が開催されました。当初は、11月29日(土)の午前中に、鷺山青少年育成市民会議や鷺山小学校PTAをはじめとした各種団体の皆さんの協力を頂きながら、鷺山小学校の児童と交流を深めるための『三代交流の秋の祭典』として、様々な活動を実施する予定でしたが、鷺山小学校においてインフルエンザが流行していたため、残念ながら交流事業は中止となりました。そのため、11月29日(土)の正午から、鷺山校区文化祭の準備をスタートさせまし

た。皆さんの協力により、1時間弱という短時間で、場の準備が整いました。その後、展示者による作品の準備が進められました。今年も素晴らしい力作が展示されました。体育館のステージには鷺山小学校の児童の皆さんの似顔絵が描かれた竹灯りの作品も展示されました。



11月30日(日)には、鷺山体育振興会によるグラウンドゴルフ大会が開催され、老若男女が9ホールのコースを2ラウンドプレイしてスコアを競い合いました。この日は、スコア32を叩き出した内田成子さんがダントツの第1位、スコア37の3名の方がプレイオフを行いました。その結果、第2位が榎本敏子さん、第3位が片桐克彦さんとなり、雑誌が回収所も設置さ



れて、多くの皆さんが雑誌の回収に協力を頂きました。雑誌のみを持ってきてくださった人は、片手でゴルフボールを掴んだ個数に応じて、トイレレット紙1ペーパープレゼントしました。飲



食コーナーでは、みたらし団子、豚汁、大学いも、鷺山パンが販売され、来場者の皆さんのおなかを満たしてくれました。JAぎふ鷺山支店の皆さんにもご協力を頂き、とれたての新鮮野菜

各所の運営では、青山中学校の生徒の皆さんがボランティアとして活動に参加してくださり、大活躍してくれました。



の販売をいただきました。キッズを対象にした体験コーナーでは、塗り絵をしたイラストを手提げ袋にプリントしていくオリジナル袋作り体験が行われました。大規模災害が発生した際に開設される避難所で使用される間仕切りや簡易トイレの展示も行われました。実際に間仕切りの中に入ってもらいながら、いざという時にどのようなスペースで過ごすことになるのか、非常食のアルファ化米の配布も行い、避難所での食事がどのようなものなのか知ってもらいました。

鷺山の資源分別回収は、毎月第3火曜日です。ゴミ減量のため、資源分別回収に御協力ください。

鷺山校区文化祭 フォトギャラリー



雑がみの回収に力を入れています。是非、様々な紙を「雑がみ」として回収し資源化を進めよう！

令和8年 岐阜市消防出初式

令和8年1月12日(月・祝)に、岐阜市立岐阜中央中学校第2運動場にて、岐阜市消防出初式が開催されました。前日からの降雪のため、会場にも雪が見られる中、開催されました。



岐阜市消防出初式のはじめには、消防団旗、分団旗の入れが行われ、その後、柴橋正直岐阜市長による観閲が執り行われました。また、岐阜市長表彰、岐阜市消防協会表彰が行われ、代表者が表彰されました。その後、ポンプ車による車列進が披露され、鷺山女性消防クラブ、鷺山水防団、

『避難用持ち出し袋』の準備はしていますか？ 中身の点検も行えていますか？



消防団OBの皆さんも激励されていきました。その後の演習では、緊急地震速報が発令され、大規模地震発生後の救助活動を想定して、実践形式の訓練が披露され



ました。工作車による倒壊家屋への進入のためのチェンソーやカッターによる作業、ドローンによる災害発生現場確認作業、水陸両用のバギーによる不陸地での走行演習、要避難者の救助が披露されました。その後、地震による火災発生を想定して、消防署のポンプ車、はしご車、6消防団のポンプ車が連携して水出し消火活動を披露しました。岐阜市北消防団鷺山分団の要員の皆さんも、見事に放水活動を披露されました。鷺山の皆さんの安心・安全な生活を守るために、常日頃から消防団活動に従事してくださる皆さんに感謝すると共に、令和8年も、鷺山が平穩に過ごせることを祈念いたします。



鷺山女性防火クラブ 岐阜市赤十字奉仕団 鷺山分団 避難所開設訓練

令和7年11月15日(土)に岐阜市立鷺山小学校にて、鷺山女性防火クラブ、岐阜市赤十字奉仕団鷺山分団が合同で『避難所開設訓練』を行いました。今まで、鷺山自治会連合会を中心にとした鷺山校区自主防災隊の幹部や、自治会長に対して大規模災害発災時に設置される避難所の開設に向けた訓練に取り組んで来ましたが、今回は、鷺山女性防火クラブ、岐阜市赤十字奉仕団鷺山分団に所属する皆さんにも、避難所開設に向けた資料の保管状況やその活用方法について、訓練を参



加された多くの皆さんが、避難所の開設に使用する資機材の内容を確認するのが初めての人であるため、どのような資機材が保管されているのか、どこに保管されているのか丁寧に説明をしていきました。また、体育館の中では、避難所内での避難者のプライバシーを守るための居室を確保するテントの組み立てや、簡易トイレの組み立て訓練にも取り組みました。大規模災害は、いつ発生するかわかりません。それが故に、できる限り多くの皆さんに、避難所開設のための資機材の保管、準備状況、また、その資機材の活用方法を知ってもらうことが重要になります。今後、多くの皆さんに避難所開設の研修を実施していきたいと思えます。



定期的な点検を行って、必要の物の見直しを定期的に行いましょう！

鷺山公園に
駐車場と駐輪場が
整備されました！

令和7年1月から実施されてきた鷺山公園の駐車場の整備工事が完了し、令和7年4月供用開始されました。鷺山公園に隣接する北野神社関係者が、鷺山公園の利用環境を良くするため、岐阜市の協力を頂いて頂き、岐阜市の管理を頂く中で、北野神社が管理する土地に多くの車両が駐車するスペースが整備されました。



自動車の利用者だけでなく、自転車の来訪者のため、駐輪スペースも整備され、誰もが鷺山公園を訪れやすい整備がされました。これから、ソメイヨシノをはじめとした桜が咲く季節を迎えます。マナー良くご利用をお願いいたします。



ハロウィン
deワッショイ♪
お菓子みこし

令和7年11月1日(土)に鷺山校区子ども会育成会主催で、ハロウィンdeワッショイ♪お菓子みこしによる巡行が執り行われました。午前中に、参加した児童とお菓子みこしの制作に取り組みました。お菓子の貼り付け方を事前に考えて、どのようにデザインするのかが、しつかり考えてから貼り付けました。約1時間程度で、お菓子みこしが完成しました。神輿の中にもたくさんのお菓子を詰め込んで、昼からの巡行の準備が完了しました。巡行の日は、いよいよ巡行



がスタートです。鷺山体育振興会、鷺山青少年育成市民会議の皆さんにも協力を頂き、高学年の児童が神輿を担いで、鷺山公民館から出発しました。まずは、池



田公園に向けて神輿を巡行し、森田草平記念館の前を通って、安全に巡行を行いました。池田公園に着いたからは、低学年の児童による神輿の体験も行いました。



その後、最終目的地であるさぎしも公園を目指して巡行しました。さぎしも公園に到着する頃になると、若干天候が崩れ始めて、ポツポツと雨が降り始めました。急いで、菓子撒きの準備を整え、低学年、高学年に分けて、2回の菓子撒きが行われました。子ども達は、降ってくるたくさんのお菓子を手に取るため、頑張った手を伸ばしてため、頑張り雨年度のお菓子みこしは、雨年度のため、巡行が出来ませんでした。今年度は、なんとか無事にお菓子みこしの巡行が執り行われました。子ども達にとっても楽しい記憶に残るハロウィンのお祭りになりました。いかにと思いません。

鷺山の福祉

第74号
発行
岐阜市社会福祉協議会
鷺山支部
Tel 231-0040

介護食講座 第2弾 作り方を伝授!

令和7年11月12日(水)に鷺山公民館にて、介護食講座の第2弾が開催されました。今回の講座は、介護食の実践講座となり、前回に引き続き、鷺山自治会連合会 副会長として活躍される『介護食士』の山田美代治さんに御紹介頂きました。介護が必要な高齢者の食への満足度を保ちつつ、栄養ある食生活を送ってもらうために、介護食というアプローチがあります。食



事はやはり『見た目』も非常に重要であり、食材の持つ見た目の美しさを残しつつ、高齢者の皆さんに栄養ある食事を摂ってもらうために、様々な工夫ができました。



それぞれの食材を、味付けした状態でミキサーをかけた状態で、食材の持つ見た目も保ちつつ誤嚥を防ぐ見えない介護食が作れることを見させて頂きました。食材をミキサーに掛ける手間やとろみをつける加減をしつかり準備することで、本当に

おいしい介護食が短時間でできあがることを見せて頂きました。実際の介護食の作り方を見せて頂きながら説明を頂いた後には、介護食の試食体験をして頂きました。お皿に載せられたものの内、左側が介護食、右側が介護食の材料となる普通食です。見て目の良さが本間に際立つ介護食であることが、並べて見せて頂くことよくわかりました。介護



食の味わいは、普通食と遜色のないもので、見た目も美しいことに参加者の皆さんが、驚きながら介護食を頂きました。喉ごしの優しさが高齢者の誤嚥を防ぐ上で非常に良い食事であることを実感することが出来ました。介護食の試食が終わった後は、参加者からの質問に



山田さん自らの経験に基づいたアドバイスが頂けました。これから携わるかもしれない人、色々な立場の人にとって、今回の介護食の実践講座は、本場に役に立つ講座となりました。

冬に温かい料理を! 鷺山ほのぼの料理教室

令和8年1月17日(土)に岐阜市立鷺山小学校にて、岐阜市食生活改善推進委員会鷺山地区主催で『鷺山ほのぼの料理教室』が開催されました。開催にあたり、鷺山自治会連合会 水野吉近 会長から日頃の食生活を見直すことの重要性を振り返りながら、本日の調理体験を楽しみました。

この日、皆さんで体験した料理は、『丸ごとブロッコリー』『ごはん』『むきえびと豆腐のあんかけ』『チーズ茶碗蒸し』『芋きんとん』の4品です。こちらの材料を使って、調理を行いました。野菜たっぷり、寒くなる冬の季節にぴったり、生姜や片栗粉を使った体の



ご協力誠にありがとうございました。

ニセの警察官を名乗って、あなたにお金を要求する詐欺の手口が広がっています。被害は、20代や30代の若者にも広がっています。

警察官は、LINEを使って連絡することはありません！その連絡、特殊詐欺です！「お金」の話が出たら、それは特殊詐欺を疑って、家族や身の回りの人に相談をしましょう！

中から暖かくなる料理です。4人程度のグループに分かれて手際よく食材を洗ったり切ったりしながら、調理を進めていきました。茶碗蒸しは、ちよつと手間のかかる料理というイメージもありますが、身近な食材を使って本当に手軽に出来るレシピを教わるのが出来ました。こちらが、この日調理した4品です。本当においしそうに出来ました。

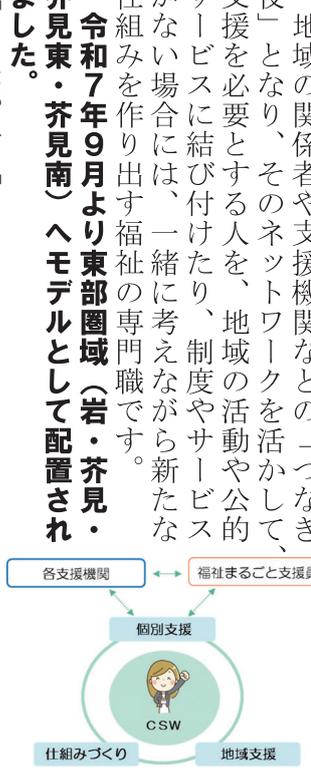


皆さん調理が完成したところで、『いただきます』と挨拶をして、楽しい昼食を楽しまました。皆さんのは、減塩や岐阜県の郷土料理、災害時の食について学ぶことができる資料が配布され、減塩を心がける重要性についてお話を頂きました。

岐阜市社会福祉協議会からのお知らせ

第3期 岐阜市地域福祉推進計画が策定されました
岐阜市社会福祉協議会は、岐阜市と共に地域福祉を推進するため、「地域福祉推進計画」を5年ごとに策定しています。第3期となる今期計画がスタートし、5つの重点施策のもと、双方の連携を強化し、取り組みを進めています。今回はその中で、重点施策1、2についてご紹介します。

【重点施策1】
地域との関係者や支援機関などの「つなぎ役」となり、そのネットワークを活かして、支援を必要とする人を、地域の活動や公的サービスに結び付けたり、制度やサービスがない場合には、一緒に考えながら新たな仕組みを作り出す福祉の専門職です。
令和7年9月より東部圏域(岩・芥見・芥見東・芥見南)へモデルとして配置されました。



【重点施策2】
(2) 多様な主体による地域貢献活動の促進
企業や各種団体などの地域貢献活動等を支援・推奨するとともに、地域やボランティアのニーズとマッチングを行い、多様な主体による地域貢献活動を促進します。

今年度、市社協と関わりのある企業へ地域貢献活動調査のアンケートを実施しました。
鷺山地域には、地域の未来を考える方が大変多く、地域活動も活発です。地域の方とお会いする度に、わくわくするお話をいただきます。今後みなさんと一緒に、計画の進捗をお伝えしながら、地域福祉の推進に努めてまいります。

鷺山地区担当地域福祉コーディネーター 児玉



令和7年度 第2回 ふれあいいきいきサロン



正木地区



鷺山地区



緑ヶ丘地区



古川地区



清洲地区

歳末助け合い募金では 405,528円の募金が寄せられました。

FC岐阜の皆さんが作成された防犯ステッカー配布

令和7年11月16日(日)に、鷺山公民館にて、FC岐阜の皆さんが作成された防犯ステッカーの配布出陣式が執り行われました。新型コロナウイルス感染症の勢いが収まった令和4年以降から刑法犯の認知件数が増加する中、地域の安心・安全を守るために、FC岐阜の皆さんが、鷺山自治会連合会、岐阜市立鷺山小学校PTA、岐阜市立青山中学校PTAの皆さんと協力して、防犯ステッカーを作成してくださいました。出陣式にあたっては、FC岐阜の(株)岐阜フットボールクラブの宮田博之会長をはじめ、



足立一則青山中学校PTA会長、宮川真史会長、協賛企業10社を代表してカワボウ(株)川島吉近鷺山自治会連合会会長、岐阜県警察本部林敏樹警視からご挨拶を頂きました。なお、今年度の鷺山校区の刑法犯の認知件数は、令和7年11月の

段階で96件となっており、昨年度より16件増加しています。特に、自転車やバイクの窃盗が顕著です。皆さんも自転車、バイクの窃盗を防ぐために、ツーロックを掛ける習慣をご検討ください。

その後、ステッカー配布出陣式に集まってくれた鷺山小学校児童の皆さんと一緒に、FC岐阜の加藤慎太郎選手やマスコットキャラクターのギッフィーと共に、記念撮影を行いました。記念撮影終了後は、いよいよ防犯ステッカーの配布がスタートです。出陣式に参加したみんなと、鷺山の町内を行進してステッカーの配布を行いました。こちらの防犯ステッカーは、鷺山自治会連合会加入世帯に対して、配布されています。



お手元に防犯ステッカーがある方は、できるだけ目立つ場所に貼り付けてもらえれば幸いです。そのことにより、地域全体の防犯力の向上を図ることが出来ればと思います。

FC岐阜の皆さん、並びに防犯ステッカーの作成、配布に協力を頂いたすべての皆様に感謝申し上げます。



『鷺山まちづくり協議会からのお知らせ』 LINEオープンチャットを開設しています。 奮ってご参加をお願いします！

コミュニケーションアプリ『LINE』のオープンチャットを活用して、鷺山まちづくり協議会をはじめ、鷺山に関する様々な情報(イベント情報、参加者募集情報、防災情報等)を皆様にお届けいたします。

このオープンチャットは、スマートフォン等でLINEを使っている方であれば、簡単に設定し、情報を入手することが出来ます。オープンチャットでは、参加者同士が友だち登録をしなくても、グループに参加することが可能なので、加入者のプライバシーを守ることができます。右のQRコードを読み込み、オープンチャットへご参加頂ければ幸いです。

